

神崎市水源地域活性化推進会議 第1回全体会議 議事抄録

開催日時	令和5年10月23日(月) 11:00~12:00		
開催場所	脊振交流センター大会議室		
出席者	委員	17名中15名出席 神崎市 市長 内川 修治 会長 神崎町区長会 平石 巖 委員 脊振町区長会 八谷 好弘 委員 佐賀大学 教授 五十嵐 勉 委員 技術交流フォーラム 藤永 正弘 委員 JA さが神崎営農センター北部事業所 所長 内田 康善 委員 せふりの風 本間 昭久 委員 NPO 法人 CSO かんざき 吉原 俊樹 委員 国土交通省 佐賀河川事務所 原 和久 委員 佐賀県 城原川ダム等対策室 山浦 章雄 委員 神崎市 総務企画部 中島 勝利 委員 神崎市 産業建設部 嶋 耕二 委員 神崎市 産業建設部 花島 初善 委員 神崎市 産業建設部 松永 義彦 委員 神崎市 脊振支所 吉田 稔 委員	
		随行者	国土交通省、佐賀県 計5名
		傍聴者	10名
		報道機関	6名

議 事 録

開会 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・神崎市水源地域活性化推進会議 第1回全体会議の開会に先立ち、事務局の司会により、当会議の傍聴及びホームページ等での議事録(発言者匿名、発言内容の要旨)の公開について、委員より了解を得た。 ・配布資料を確認した。 <p>[配布資料]</p> <p>次第</p> <p>資料-1 神崎市水源地域活性化推進会議設置要綱</p> <p>資料-2 推進会議委員名簿</p> <p>資料-3 城原川ダム事業について</p> <p>資料-4 水源地域活性化推進会議とは</p> <p>資料-5 具体的施策の推進体制について</p> <p>資料-6 会議体制(案)</p>
-------------	--

	<p>資料-7 想定されるプロジェクト例</p> <p>資料-8 今後のスケジュール（案）</p> <p>パンフレット（①検討委員会での検討経過、②神崎市水源地域振興計画概要）</p> <p>・本委員会は定刻に開会した。</p>
<p>市長あいさつ （内川市長）</p>	<p>・市長より挨拶を行った。</p> <p><以下、挨拶の概要></p> <p>第1回目全体会議の開催に際し、大変お忙しい中にも関わらず、皆様にご参列多賜りましたことを心から御礼申し上げたい。</p> <p>城原川ダム建設については、一番関心の高い水没地域の方々のご意見等も含め、国、県、そして市が三位一体となって着実に進めているところである。明日も国土交通省へのダム事業に関する要望を行う予定としている。</p> <p>本日の第1回目の全体会議は、これまでの神崎市水源地域振興計画を着実に推進し、いわゆる「目指すべき地域の将来像」の実現に向けて、多様な主体の参画と協働活動により取り組んでいくための会議と認識している。</p> <p>城原川ダム建設予定地を含む上流地域の活性化については、この地域をより魅力ある地域にするために、ダム建設を地域活性化の地域資源の一つとして、今後どう活かしていくかが大変重要であると認識している。また、目指すべき地域の将来像の実現に向けて、城原川でつながっている上下流域、つまりは神崎市全体が一体となって、この地域活性化に取り組むことも重要であると考えている。</p> <p>本会議は、行政主体ではなく、住民の皆さまを中心とした自律的かつ持続可能な推進を目指している。皆様には、様々な観点から色々なアイデアや企画を出していただき、「本当にダムができて良かったな」と思われるような取組みの推進母体になっていただくよう、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>神崎市水源地域 活性化推進会議 設置要綱について （事務局）</p>	<p>・資料1に基づき、神崎市水源地域活性化推進会議設置要綱について説明した。</p>
<p>委嘱状交付／委員紹介 （事務局）</p>	<p>・資料2に基づき、委嘱状交付及び委員紹介を行った。</p>
<p>副会長・議長選 任 （事務局）</p>	<p>・本会議設置要綱に基づき、副会長兼議長の発案として、会長より五十嵐委員が推薦され、各委員、五十嵐委員より了承を得た。</p> <p>・進行が五十嵐議長（副会長）に移行した。</p> <p><五十嵐議長（副会長）の挨拶></p> <p>ダム直下の地域、ダムの上流域含め、城原川流域の地域活性化のための検討を5年間にわたって進めてきた。</p> <p>途中、コロナのまん延等により、検討委員会やワークショップの開催が滞ることもあったが、地域振興の大筋である水源地域振興計画が策定された。この計画</p>

	<p>の中で、どれを優先するか、また新たな活動はあるかなどを検討すべく、推進会議を発足することができた。本日がいよいよキックオフとなるため、皆様からの忌憚のないご意見をいただきながら、この会議を進めていきたいと思う。</p>
<p>報告事項 1) 城原川ダム事業 について (国土交通省佐 賀河川事務所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3 に基づき、城原川ダム事業について報告した。 ・委員からの質問・意見等はなかった。
<p>報告事項 2) 神崎市水源地域 振興計画の計画 経過と概要につ いて (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット①及び②に基づき、神崎市水源地域振興計画の計画の概要について報告した。 ・委員からの質問・意見等はなかった。
<p>議題 1) 具体的施策の進め 方と推進体制につ いて (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 4 ～ 7 に基づき、具体的施策の進め方と推進体制について説明した。
<p>議題 2) 今後のスケジュ ールについて (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 8 に基づき、今後のスケジュールについて説明した。 ・委員からの質問・意見等はなかった。
<p>議長</p>	<p>資料 4 にあるとおり、新規に団体を立ち上げることはない。すでに様々な地域で様々な団体・個人が活動している。これらの団体・個人が横のつながりや連携を構築・協働していくことが前提とされている。</p> <p>資料 8 について確認だが、それぞれの部会の運営（資料の準備や日程調整等）は、市の企画課がサポートするのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市の企画課及びダム対策課が協力してサポートしていく。</p>
<p>議長</p>	<p>資料 4 ～ 8 について、質問・意見等はあるか。</p> <p>特に質問・意見等はないようなので、自由な意見交換の時間とする。全体を通して、何かあれば、この場でご発言いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>現在行われている河川関係のイベントや行事の内容や主催者等を整理し、今後の活動に繋げていくのはどうか。</p> <p>商工会議所や観光協会等がこのようなイベントや行事を主催していると思うが、これらの組織も事業の柱として地域振興を位置づけているため、関連するイベントや行事を整理して後に、市民主体である今回の活動に紐づけていくのも良いのではないか。お互いに知らない事業もあると思うので、若い世代の取組みも含めて整理を行ってほしい。</p>

議長	<p>このような関連団体の取組みの整理について、事務局の方で対応をお願いしたい。関連して、SNSによるリアルタイムでの情報発信や個人の情報発信等があるが、この事業に関連する情報を集約して共有する仕組みなども、振興計画の方針や施策にあがっているため、事務局や関係する作業部会等において検討してほしい。この会議でSNSのアカウントを1つ作るなども検討してほしい。</p> <p>ある程度、各部会の基盤はできていると思うので、次の全体会議までにそれぞれ活動を進めていくことになる。</p> <p>各部会長にはご苦勞をかけるが、部会のメンバーを巻き込むように進めてほしい。他の部会と重複する活動もあり、部会同士の連携や調整も必要になってくると考えている。</p> <p>他に、ご意見等はあるか。進め方については、この進め方でよいか。特にご意見等はないようなので、これまでのご意見・説明内容を踏まえ、会長より、改めて決意表明や激励等をお願いしたい。</p>
会長	<p>ダムの建設と周辺地域の活性化を同時進行していかなければならないが、上下流域が連携して、「ダムができてよかったね」と言えるよう、皆様にはよろしく願いしたい。</p> <p>・議事進行を五十嵐議長から事務局に引き継いだ。</p>
事務局	<p>・以下の点について、連絡した。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 事例の視察を検討中、実施時期や視察先が決まったら、事務局から連絡する。 - 次回の第2回全体会議は、年明けの1～2月を目途に開催予定である。 - 推進会議について意見等あれば、企画課またはダム対策課に連絡をいただきたい。
閉会 (事務局)	<p>・神崎市水源地域活性化推進会議 第1回全体会議を閉会した。</p>

以 上